

テーマ わかりたいあなたのための臨床心理学入門

課題やレポート等で臨床心理学に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょうか。臨床心理学を学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探るとき、こんなキーワードで探してみよう

臨床心理、心理（精神）療法、（サイコ）セラピー、心理面接、カウンセリング、心理検査、心理査定 など

図書館にある資料の一例

参考図書 ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！1F 和参考書は貸出できませんので注意してください。

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『心理臨床大事典 改訂版』 氏原寛 [ほか] 共編, 培風館, 2004.4	8号館 3F 8号館和図書	146.036/SR-D	10+0152353	臨床心理学に関する基礎的な知識はほぼこの一冊でカバーできます！
『家族心理学ハンドブック』 日本家族心理学会編, 金子書房, 2019.1	8号館 3F 8号館和図書	367.3/NK-K	10+0358667	家族心理学に関する最新の情報を取りまとめた本です。興味のある章だけを読んでも楽しめます。
『New Liberal Arts Selection 心理学』 無藤隆ほか, 有斐閣, 2004.3	B1A 和閉図書	140.0/MT-S	10+0190224	臨床心理学も含めて、心理学全般の知識がとても読みやすくまとめられています。事典ではないですが、事典のように活用することがお薦めです。
『精神医学ハンドブック：医学・保健・福祉の基礎知識』 山下格, 日本評論社, 2010.10	8号館 3F 8号館和図書	493.7/YI-S	10+0301419	精神医学に関する知識は、このハンドブックで調べるのが一番無難です。このシリーズにある「子どもの精神医学ハンドブック」もとても役に立つ本です。
『心理査定実践ハンドブック』 氏原寛ほか 編, 創元社, 2006.9	8号館 4F 8号館和図書	146.3/SS-Z	10+0205008	心理査定、心理検査に関して調べるときにはこの一冊です！

入門書 ☆基礎を学んでみよう

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『やさしいフォーカシング：自分でできるこころの処方』 アン・ワイザー・コーネル著；日笠摩子ほか訳, コスモライブラリー, 1999.9	8号館 4F 8号館和図書	146.8/CA-Y	10+0362419	心理療法の1つである「フォーカシング」についてわかりやすく紹介している入門書です。本学の日笠摩子先生が翻訳されているものです。
『物語とふしぎ：子どもが本に出会うとき』 河合隼雄, 岩波書店, 1996.3	B1A 和閉図書	909.0/KH-M	11+0004271	臨床心理学の第一人者である著者が、物語とこどもの出会いを題材にして、ひとの「こころ」、「無意識」のふしぎについて紹介している入門書です。
『アサーション・トレーニング：さわやかな「自己表現」のために』 平木典子, 金子書房, 2009.9	8号館 3F 8号館和図書	361.454/HN-A	10+0234428	アサーションとは自分も相手も尊重しながら自分を表現することです。本書では無理のない望ましい自己表現の方法をわかりやすく解説しています。
『犯罪心理学：犯罪の原因をどこに求めるのか』 大淵憲一, 培風館, 2006.37	8号館 3F 8号館和図書	326.34/OK-H	10+0203761	犯罪心理学について学びたいければ、まずはこの本あたりから手にとってみるのはいかがでしょうか？

『僕のこころを病名で呼ばないで：思春期外来から見えるもの』青木省三，筑摩書房，2012.2	B1A 和閉図書	493.937/AS-B	10+0255487	精神科医である著者が診察の様子などを紹介しながら、思春期のメンタルヘルスについて説明してくれる、初学者向けの新書です。
『「こころ」の本質とは何か：統合失調症・自閉症・不登校のふしぎ』滝川一廣，ちくま新書，2004.7	8号館 3F 8号館和図書	493.71/TK-K	10+0313531	「こころ」と「そだち」の問題についてわかりやすく解説しています。
『子どもが家を出ていくとき』リチャーズ、ウィリス著 片岡しのぶ訳，晶文社，1982.9	B1A和閉図書	367.3/RA-K	10+0300378	家を出ようとする若者と、子どもの自立をめぐる親の心理がよくわかる本です。
『サイコセラピー練習帳』丸田俊彦著，岩崎学術出版社，1986.7	B1A和閉図書	146.8/MT-S/1	10+0159286	精神分析的な心理療法の基礎を学ぶのに適した本です。「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテルがクライエントという設定です。
『新版 子どもの精神科』山登敬之，筑摩書房，2010.9	8号館 3F 8号館和図書	493.937/YH-K	10+0273576	発達障害、不登校、摂食障害など、児童期・思春期に顕在化しやすい精神疾患や不応について、児童精神科医である著者がやさしく解説してくれています。
『はじめて出会う心理学 改訂版』長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・廣中直行，有斐閣アルマ，2008.3	8号館 4F 8号館和図書	140.1/HT-H	10+0220756	感覚、知覚、記憶、学習、思考、発達など、基礎心理学を基本から学びたい初学者向け。錯視図などの図表も充実していて、楽しく学べます。
『怒りをコントロールできない子の理解と援助—教師と親のかかわり』大河原美以，金子書房，2004.7	8号館 3F 8号館和図書	371.42/OM-I	10+0319210	学校現場で問題とされやすい「怒りをコントロールできない子ども」への臨床心理学的な援助のエッセンスを、わかりやすい言葉で教えてくれます。
『暮らしの中のカウンセリング入門—心の問題を理解するための最初歩』神戸松蔭女子学院大学人間科学部心理学科編，北大路書房，2016.7	8号館 4F 8号館和図書	146.8/KN-K	10+0323026	カウンセリングでは何をするのか？カウンセリングにはどんなスタイルがあるのか？など、誰もが気になるカウンセリングのポイントについてやさしく解説してくれています。
『よくわかる臨床心理学』下山晴彦，ミネルヴァ書房，2009.9	8号館 4F 8号館和図書	146.01/YW-R	10+0232238	臨床心理学の概要を掴みたい初学者のための入門書。各トピックが2~4ページでまとまっているので、辞書的に利用するのがお勧め。
『明解！スクールカウンセリング—読んですっきり理解編』黒沢幸子・元永拓郎・森 俊夫，金子書房，2013.8	8号館 3F 8号館和図書	371.43/KS-M	10+0343040	初学者にはややわかりづらいスクールカウンセリングの全体像や実践上のポイントを、平易な言葉で学べます。スクールカウンセラーに興味がある人にお勧め。
『家族を生きる：違いを乗り越えるコミュニケーション』平木典子・柏木恵子，東京大学出版会，2012.9	8号館 3F 8号館和図書	367.3/HN-K	10+0358665	現代の家族が抱えやすい問題について、家族研究の第一人者の柏木先生と家族臨床の第一人者の平木先生が対談しています。
『リフレーミングの秘訣』東豊，日本評論社，2013.3	B1A 和閉図書	146.8/HY-R	10+0270658	家族システム論のリフレーミングを通して、家族面接の在り方を解説しています。事例も多いので、読みやすいと思います。
『虐待を受けた子どもの回復と育ちを支える援助』増沢高，福村出版，2009.12	8号館 3F 8号館和図書	369.4/MT-G	10+0358666	最近の虐待の事件を機に注目されていると思います。虐待に関心がある人は、ぜひ読んでみてください。

専門的な図書 ☆より深く学ぶにはこちらを読もう！

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『家族との心理臨床：初心者のために』平木典子，垣内出版，1998.11	8号館 3F 8号館和図書	493.7/HN-K	10+0072898	家族臨床に長らく関わってきた著者が、家族に関する臨床心理学的なアプローチ方法について解説したものです。初学者にもわかりやすいです。
『精神分析とは何か フロイトの仕事 集中講義・精神分析上』藤山直樹，岩崎学術出版，2008.10	8号館 4F 8号館和図書	146.1/SK-S/1	10+0225841	大学の講義をまとめたもので、とてもわかりやすく精神分析とは何かについて、実践的に説明されています。下巻『フロイト以後』もおすすです。

『H・NAKAI 風景構成法：シンポジウム』 山中康裕編，岩崎学術出版社，1984.11	8号館 3F 8号館和図書	493.7/NH-N/7*	50+0103169	風景構成法は日本が生み出した心理検査であり、心理療法です。少し難しいですが、ぜひ描画から展開される人の心の動きを味わってみましょう。
『山上敏子の行動療法講義 with 東大・下山研究室』 山上敏子・下山晴彦，金剛出版，2010.8	8号館 3F 8号館和図書	493.7/YT-Y	10+0241702	行動療法の第一人者の一人である山上敏子先生の講義録です。専門的な内容が口語体で展開されており、行動療法の基本を学ぶことができるお薦めの一冊です。
『心理療法と生活事象：クライアントを支えるということ』 村瀬嘉代子，金剛出版，2008.9	8号館 4F 8号館和図書	146.8/MK-S	10+0225036	本学に長く務められ、現在も客員教授である村瀬嘉代子先生の心理臨床の姿勢を学ぶことができる一冊です。特に心理士に興味がある方にお薦めです。
『こころの医学入門』 近藤直司・田中康夫・本田秀夫編，中央法規，2017.9	8号館 3F 8号館和図書	493.7/KN-K	10+0338509	心理、福祉、リハビリテーションなどの学生や専門職にお勧めしたい精神医学の教科書です。症例や実践的な内容が豊富で、楽しく読めると思います。
『青年のひきこもり・その後』 近藤直司著，岩崎学術出版社，2017.11	3 F 和開図書	367.68/KN-S	10+0344157	若者のひきこもり問題に関する論文集です。本人と家族のアセスメントと支援について詳しく知りたい人にお勧めします。
『合同家族療法』 ヴァージニア サティア，岩崎学術出版，1970.8	B1A 和閉図書	145.9/G1/1-14	50+0062948	サティアは家族療法を始めた一人です。古典的な本ですが、実際の家族面接の実践と、彼女の温かい人柄と力強いエネルギーが感じられます。
『学校で活かすいじめへの解決志向プログラム』 スー・ヤング著，黒沢幸子監訳，2012.3（原著『Solution-Focused Schools: Anti-Bullying and Beyond』2009 Sue Young, BT Press）	8号館 3F 8号館和図書	375.2/YS-G	10+0261955	解決志向アプローチとは、その人の強みや既に上手くいっていることに注目する新しいスタイルの心理療法。通常の問題探求的なアプローチとはひと味違った視点は新鮮で、一読の価値あります。

データベース・関連 Web ページ

☆専門的な情報を探すときに便利です。データベースで探した本や論文が図書館にあるか、あらためて OPAC（蔵書検索）や CiNii で調べましょう

図書館の OPAC・データベースについては Student's Handbook2019 内の『図書館活用ガイド』133～137 ページを参考にしてみよう！

データベース・Web ページ名	URL	ポイント
文部科学省HP 白書・統計・出版物	http://www.mext.go.jp/b_menu/b005.htm	レポートの際にデータが必要な方はこちらへどうぞ。
厚生労働省HP 統計情報・白書	http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/	

※上記 URL は 2020 年 9 月現在のものです。